

# 創発的研究支援事業に本学から初採択

## 本件のポイント！

- ①医学部 藤田 幸 教授の研究が創発的研究支援事業に採択。
- ②壊れた神経回路を修復し、機能回復を目指す。

- ①医学部 藤田 幸 教授の研究が創発的研究支援事業に採択。

### 創発的研究支援事業とは

JST（科学技術振興機構）が行う事業で、特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す「創発的研究」を推進するため、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な多様な研究を、研究者が研究に専念できる環境を確保しつつ原則7年間（途中ステージゲート審査を挟む、最大10年間）にわたり長期的に支援する事業。

本事業は首相官邸ホームページにて岸田内閣の主要政策として取り上げられています。

2022年度研究提案の募集に 2,790件 の応募があり、そのうち 263件 の研究課題とその研究代表者を採択。

医学部解剖学講座(発生生物学) 藤田 幸 教授の研究課題

「損傷後の神経回路修復を促す手法の開発」が

島根大学として初めて本事業に採択されました。

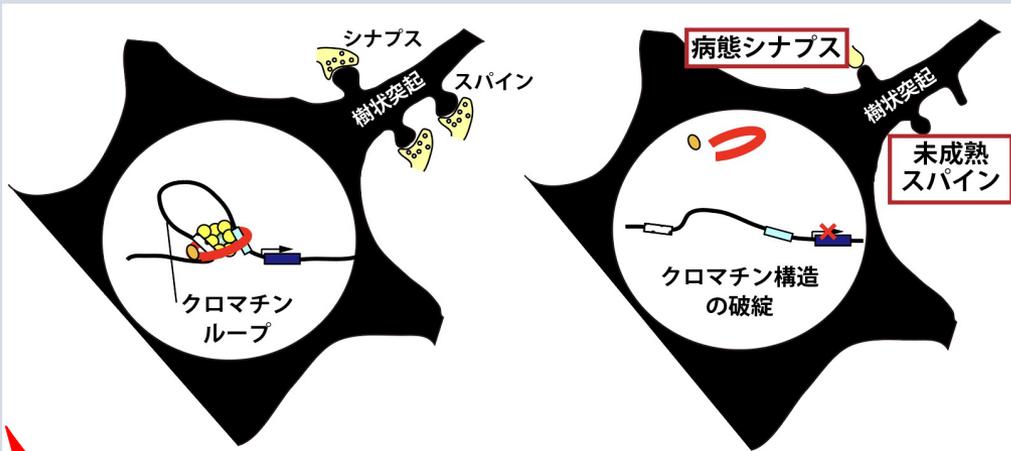
# 創発的研究支援事業に本学から初採択

## ②壊れた神経回路を修復し、機能回復を目指す。

### 研究課題名：損傷後の神経回路修復を促す手法の開発

#### <研究概要>

病気や怪我で哺乳類の成体の脳や脊髄が障害を受けた場合、失われた神経機能を取り戻すことは非常に困難です。一方で、発生・発達期には、盛んに神経回路が形成され、多様な神経機能を獲得していきます。本研究では、脳や脊髄などの中枢神経障害後の神経回路修復、機能回復を促すために必要なメカニズムを明らかにします。得られた成果によって、神経細胞が本来発生期に有していた高い神経回路形成能を、成体の病態下で再現するための手法の開発を目指します。



藤田 幸

<略歴>

2006年星薬科大学衛生薬学部卒業、2008年千葉大学大学院医学薬学府博士前期課程修了。2011年大阪大学大学院医学系研究科博士課程PhD取得。2012年大阪大学大学院医学系研究科特任助教(常勤)。2015年同助教。2018年同准教授。2021年ペンシルベニア大学医学大学院ポスドク。2022年より島根大学学術研究院医学・看護学系教授。



**この研究の成果は、神経疾患の克服に向けた突破口になると期待されます！**